様式１　（受講者 → 校長）

**中堅教諭等資質向上研修**

**受講者に関する調査票（高等学校用）**

　この「受講者に関する調査票」は、受講者の資質・能力、適性等を踏まえた研修計画を立てるための資料とする。

|  |
| --- |
| 「分野」欄に示されている５つの分野は、校外研修で開設する５つのコース別研修のコースと連動してい  る。例えば「学習指導分野」に最も研修の必要性があると考える場合は、「学習指導コース」を選択することとなる。  　「内容」欄は、各分野で研修の必要性を判断する際の視点を示している。 |

　　＜記入方法＞

　　①　最も研修の必要性があると考える分野の「研修の必要性」欄に○印を記入する。

　　　　　（○印を記入する場合は、校内研修での実践が可能であることを確認する。）

　　②　○印を付けた分野の「理由」欄に、その理由を記入する。

　　③　「特記事項（受講者）」欄には、勤務経験、研修履歴、適性、その他本研修を実施する上で特記すべき事柄

について記入する。

　　※　特別支援学校においては、生徒の障害特性に配慮した取組が行われているかという点を踏まえること。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （受講者名 |  | ） |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 分  野 | 内　容 | 受講者 | | 校　長 | |
| 研修の  必要性 | 理由 | 研修の  必要性 | 理由 |
| 学  習  指  導 | 〇　自校の学習上の諸問題を解決するために、生徒の実態を把握・分析し、授業改善に向けて組織的に校内研究に取り組む。  〇　高い専門性を身に付け、周りにある教育資源や新しい指導方法を効果的に取り入れて、学校全体の授業力向上に取り組む。  〇　主体的・対話的で深い学びを組織的に推進し、授業に関する適切な指導・助言を行う。  〇　学力向上や授業評価等の視点をもち、学年内や教科内の指導計画の改善を学校全体で行う。 |  |  |  |  |
|  | |  | |
| 進  路  指  導 | ○　学年や学校全体の教員が共通の認識に立って指導計画の作成に当たることができるよう、校内の組織体制を整備する。  〇　生徒が自己の個性、能力、適性等を踏まえた将来設計を行うための進路指導計画の作成に参画する。  〇　生徒が、自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択し、進路目標の達成に向けて努力できるように、組織的・計画的に指導、支援する。  〇　一貫した指導体制の構築や質の高い豊かな教育の機会創出のために、小・中・特・高や外部機関と連携する。 |  |  |  |  |
|  | |  | |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 分  野 | 内　容 | 受講者 | | 校　長 | |
| 研修の  必要性 | 理由 | 研修の  必要性 | 理由 |
| 生  徒  指  導 | 〇　生徒指導を組織的・計画的に行うための長期的な見通しをもち、関係機関や小・中・特・高等との連携を図りながら、自校の生徒指導体制づくりを推進する。  〇　教職員の多様な専門性を活用し、連携・協働して組織的に生徒の指導・支援、教育相談等を行う。  〇　教職員の生徒指導力を高めるために、教職員に対して指導・助言したり、職員研修を企画したりする。  〇　いじめや不登校等の現状について常に情報を収集し、予防・解決に向けて迅速かつ組織的な対応による適切な指導や支援を行う。 |  |  |  |  |
|  | |  | |
| 特別支援教育 | 〇　生徒の実態把握や分析を組織的に行い、一人一人の障害の状態に応じたきめ細やかな指導につながる個別の教育支援計画・個別の指導計画を作成する。  〇　生徒が主体的に活動に取り組むための指導法や指導体制づくりを全校体制で推進する。  〇　関係機関との連携や活用を積極的に進め、組織的・継続的な支援を行う。  〇　特別支援教育に関わる高い専門性を身に付け、自校の課題解決のために組織的・計画的に校内研修を企画・立案し、必要に応じ指導・助言をする。 |  |  |  |  |
|  | |  | |
| 学年・学級経営 | 〇　教育目標や学校の経営方針を踏まえて、学年・学級の経営方針を決定し、他の教職員と連携を図りながら、見通しをもって学年・学級運営を推進する。  〇　生徒の生活・学習・行動・健康の実態把握を行い、組織的に指導・支援を行う。  〇　自己存在感や所属感、学習意欲を高める指導・支援の在り方について、組織的に校内研究に取り組む。  〇　同僚の教職員に適切な支援、助言を行いながら、よりよい学年・学級経営のための改善と、生じている諸問題を解決するための手立てを講じる。 |  |  |  |  |
|  | |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 特記事項（受講者） | 特記事項（校長） |
|  |  |